

作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

交換シリンダー	取付ねじ	交換要領書
HH-J-0124U9 HH-J-0129U9 HH-3K-10934 シリンダー：2個 子カギ：3本	 主錠シリンダー 取り付け用：2本  補助錠シリンダー 取り付け用：2本	 本書 1枚

作業のために準備していただくもの

プラスドライバー
  1本

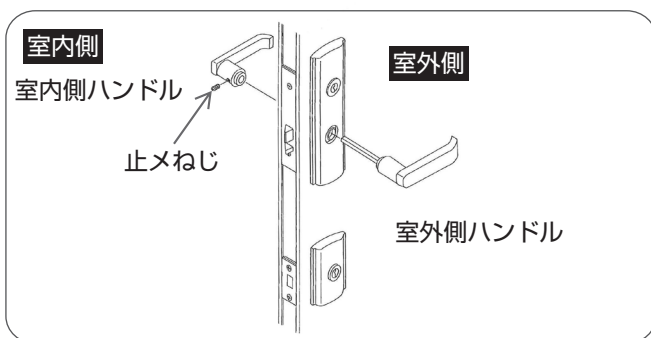
※部品が全てそろっていることを確認してください。

レバーハンドル錠の取りはずし方

お願い

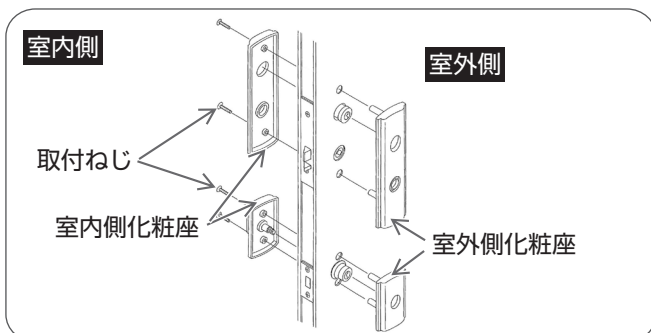
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 ハンドルの取りはずし



室内側からプラスドライバーで室内側ハンドルの止メねじをはずし、室内側ハンドルおよび室外側ハンドルをはずす。
※室内側ハンドルをはずすと室外側ハンドルがはずれます。落下にご注意ください。
※ハンドルおよび止メねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

2 化粧座の取りはずし



室内側からプラスドライバーで取付ねじをはずし、室内側化粧座および室外側化粧座をはずす。
※室内側化粧座をはずすと室外側化粧座がはずれます。落下にご注意ください。
※化粧座および取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

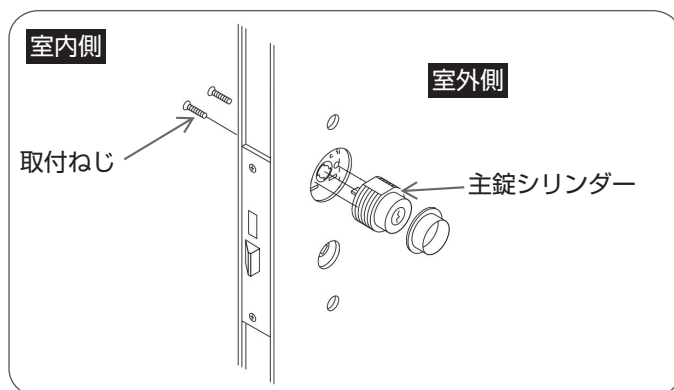
※レバーハンドル錠の取り付け方は3・4ページをご覧ください。

レバーハンドル錠の取りはずし方

お願い

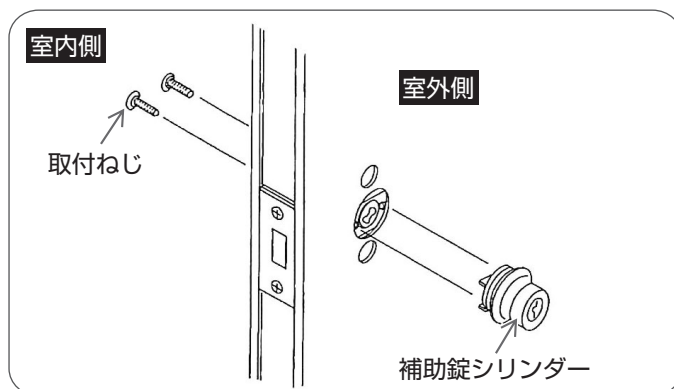
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

3 主錠シリンダーの取りはずし



室内側からプラスドライバーでシリンダーの取付ねじをはずし、シリンダーをはずす。
※取付ねじをはずすとシリンダーがはずれます。落下にご注意ください。

4 補助錠シリンダーの取りはずし



室内側からプラスドライバーでシリンダーの取付ねじをはずし、シリンダーをはずす。
※取付ねじをはずすとシリンダーがはずれます。落下にご注意ください。

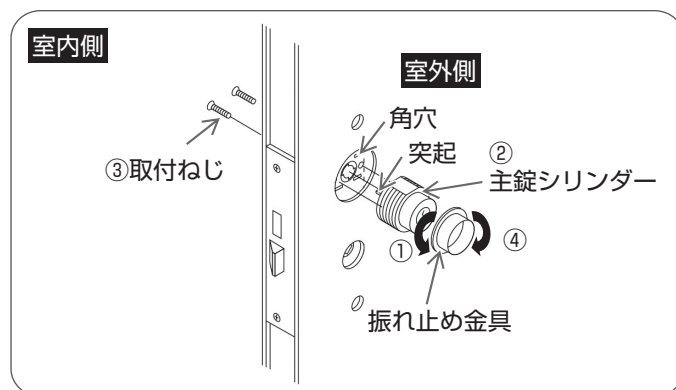
※レバーハンドル錠の取り付け方は3・4ページをご覧ください。

レバーハンドル錠の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 主錠シリンダーの取り付け

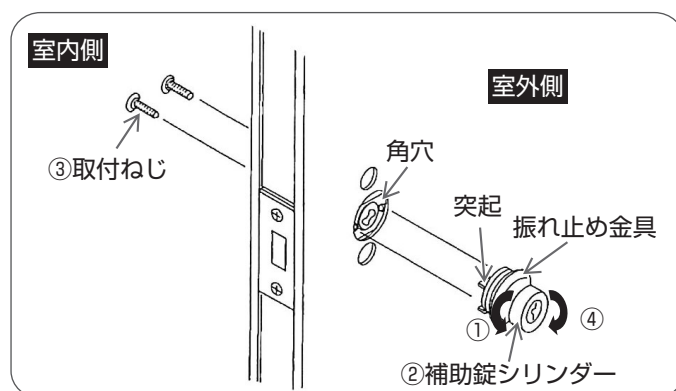


- ① シリンダーの振れ止め金具を反時計回りに回してゆるめる。
- ② 室外側からシリンダーの突起(4ヶ所)とケースの角穴を合わせるように差し込む。
※シリンダーのM I W Aマークが上になるように取り付けてください。



- ③ 室内側からプラスドライバーで取付ねじをしめる。
- ④ 振れ止め金具を時計回りに回してしめる。

2 補助錠シリンダーの取り付け



- ① シリンダーの振れ止め金具を反時計回りに回してゆるめる。
- ② 室外側からシリンダーの突起(4ヶ所)とケースの角穴を合わせるように差し込む。
※シリンダーのM I W Aマークが上になるように取り付けてください。



- ③ 室内側からプラスドライバーで取付ねじをしめる。
- ④ 振れ止め金具を時計回りに回してしめる。

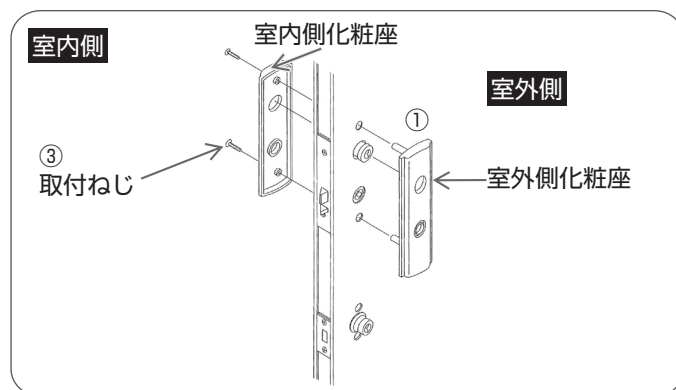
※レバーハンドル錠の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。

レバーハンドル錠の取り付け方

お願い

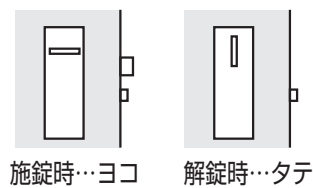
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

3 主錠化粧座の仮止め



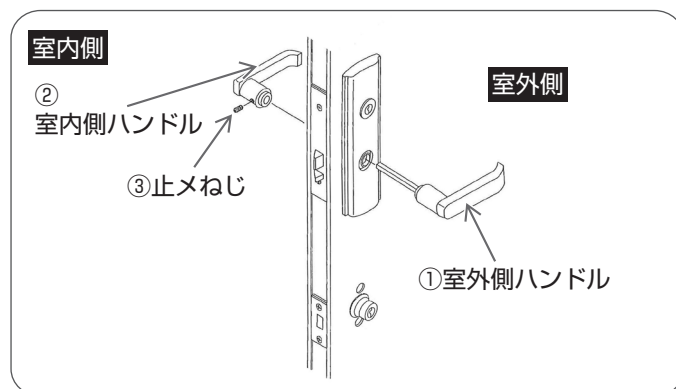
- ① 室外側から室外側化粧座を差し込む。
- ② 室内側から室内側化粧座のサムターンツマミを施錠状態に合わせてセットする。

サムターンツマミの正しい状態



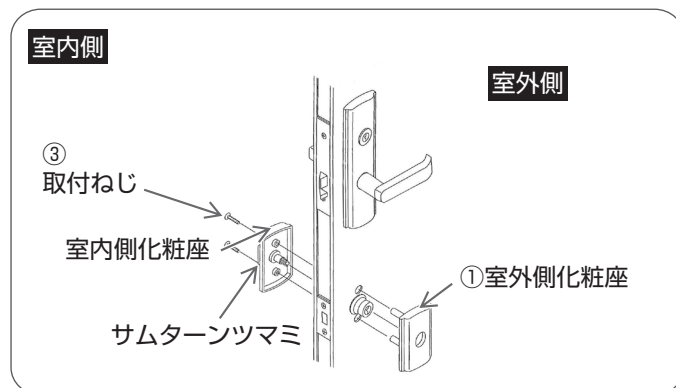
- ③ プラスドライバーで取付ねじを仮止める。

4 ハンドルと主錠化粧座の取り付け



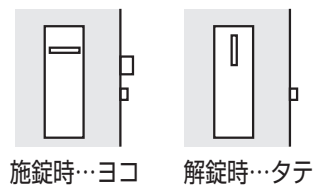
- ① 室外側から室外側ハンドルをケースの角穴に合わせて差し込む。
- ② 室内側から室内側ハンドルを室外側ハンドルの角軸に差し込む。
- ③ プラスドライバーで止メねじを仮止める。
- ④ ハンドルを数回作動させ、動きのよい所で化粧座の取付ねじおよびハンドル止メねじをプラスドライバーでしめる。

5 補助錠化粧座の取り付け



- ① 室外側から室外側化粧座を差し込む。
- ② 室内側から室内側化粧座のサムターンツマミを施錠状態に合わせてセットする。

サムターンツマミの正しい状態



- ③ プラスドライバーで取付ねじを仮止めし、サムターンツマミを数回作動させ動きのよい所でしめる。

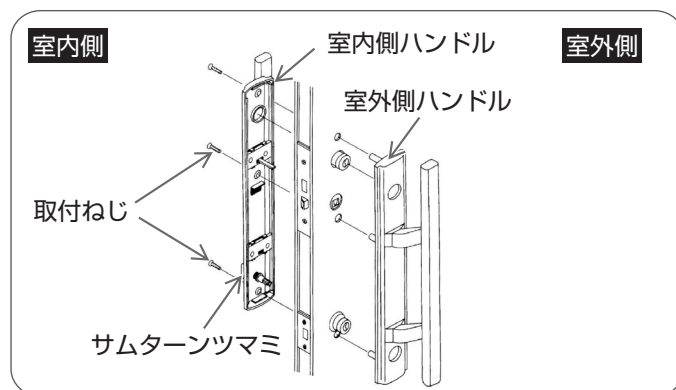
※レバーハンドル錠の取りはずし方は1・2ページをご覧ください。

プッシュプルハンドル錠の取りはずし方

お願い

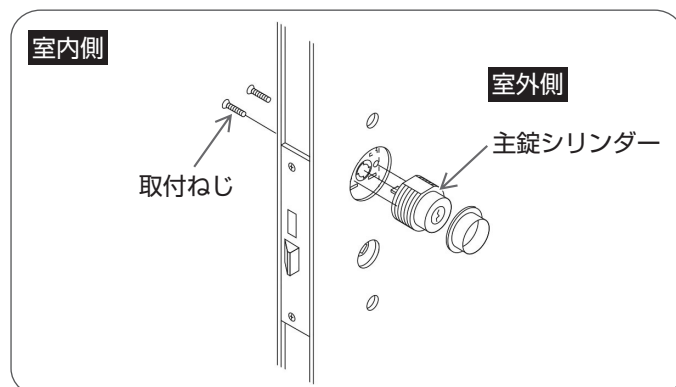
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 ハンドルの取りはずし



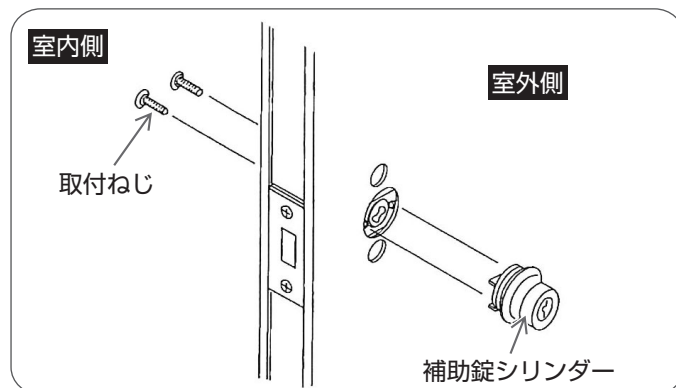
室内側からプラスドライバーで取付ねじをはずし室内側ハンドルおよび室外側ハンドルをはずす。
※室内側ハンドルをはずすと室外側ハンドルがはずれます。落下にご注意ください。
※ハンドルおよび取付ねじは取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

2 主錠シリンダーの取りはずし



室内側からプラスドライバーでシリンダーの取付ねじをはずし、シリンダーをはずす。
※取付ねじをはずすとシリンダーがはずれます。落下にご注意ください。

3 補助錠シリンダーの取りはずし



室内側からプラスドライバーでシリンダーの取付ねじをはずし、シリンダーをはずす。
※取付ねじをはずすとシリンダーがはずれます。落下にご注意ください。

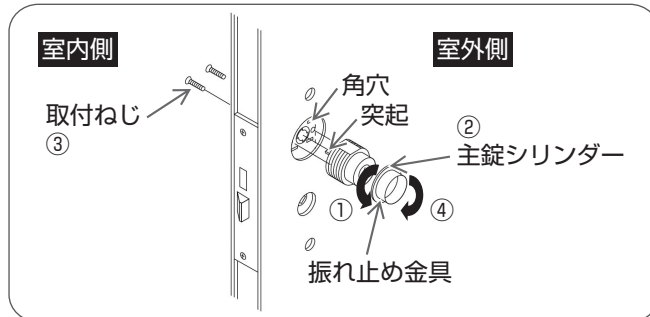
※プッシュプルハンドル錠の取り付け方は6ページをご覧ください。

プッシュプルハンドル錠の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 主錠シリンダーの取り付け

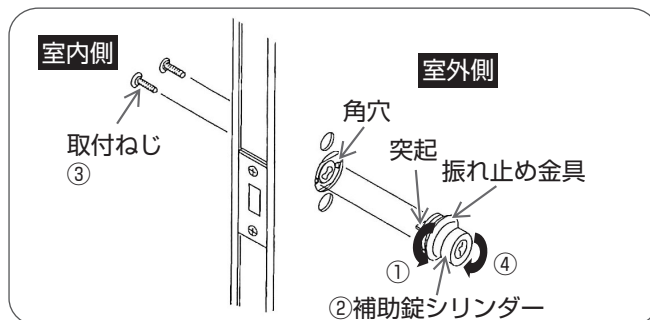


- ①シリンダーの振れ止め金具を反時計回りに回してゆるめる。
- ②室外側からシリンダーの突起(4ヶ所)とケースの角穴を合わせるように差し込む。
※シリンダーのM I W Aマークが上になるように取り付けてください。



- ③室内側からプラスドライバーで取付ねじをしめる。
- ④振れ止め金具を時計回りに回してしめる。

2 補助錠シリンダーの取り付け

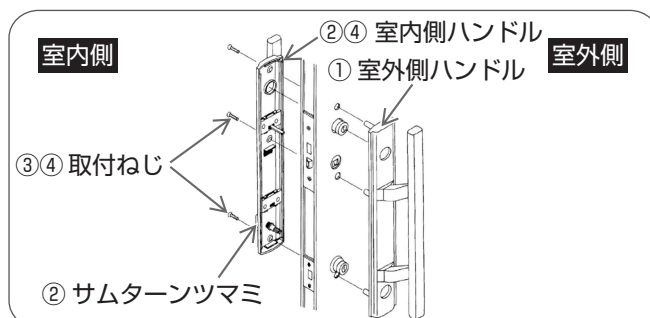


- ①シリンダーの振れ止め金具を反時計回りに回してゆるめる。
- ②室外側からシリンダーの突起(4ヶ所)とケースの角穴を合わせるように差し込む。
※シリンダーのM I W Aマークが上になるように取り付けてください。



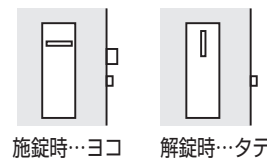
- ③室内側からプラスドライバーで取付ねじをしめる。
- ④振れ止め金具を時計回りに回してしめる。

3 ハンドルの取り付け



- ①室外側から室外側ハンドルを差し込む。
- ②室内側から室内側ハンドルのサムターンツマミを施錠状態に合わせてセットする。

サムターンツマミの正しい状態



- ③プラスドライバーで取付ねじを仮止めする。
- ④ハンドルを数回作動させ、動きのよい所で取付ねじをプラスドライバーでしめる。

部品の交換後のチェック



- ①交換した部品がしっかりと取り付けられていることを確認してください。
- ②取付ねじのしめつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③錠にカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。
サムターンをまわし、施解錠ができることを確認してください。
- ④取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじのしめつけを調整してください。

※プッシュプルハンドル錠の取りはずし方は5ページをご覧ください。